

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月5日 (2013.9.5)

【公開番号】特開2011-139809(P2011-139809A)

【公開日】平成23年7月21日 (2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-2407(P2010-2407)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月18日 (2013.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、
前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用 C P U と、
前記制御用 C P U が搭載された遊技制御基板と、
前記遊技機への電力供給が開始されるときに、前記遊技機ごとに予め個別に付与された
遊技機固有情報を前記遊技機の外部に出力するための情報出力手段とを備える、
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、
前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用 C P U と、
前記制御用 C P U が搭載された遊技制御基板と、
前記遊技機における遊技状態が遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御されるときに
、前記遊技機ごとに予め個別に付与された遊技機固有情報を前記遊技機の外部に出力する
ための情報出力手段とを備える、
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

所定の第 1 の枠と、前記所定の第 1 の枠に対して開閉可能に取り付けられた所定の第 2
 の枠とが設けられ、所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、
前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用 C P U と、
前記制御用 C P U が搭載された遊技制御基板と、
前記所定の第 2 の枠が開放されたことを検出する開放検出手段と、
前記開放検出手段によって前記所定の第 2 の枠が開放されたことを検出したときに、前
記遊技機ごとに予め個別に付与された遊技機固有情報を前記遊技機の外部に出力するた
めの情報出力手段とを備える、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本願の第1の観点に係る遊技機は、所定の遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1やスロットマシン601など）であって、前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用CPU（例えばCPU56など）と、前記制御用CPUが搭載された遊技制御基板（例えば主基板31など）と、前記遊技機への電力供給が開始されるときに、前記遊技機ごとに予め個別に付与された遊技機固有情報（例えばメーカーコード、チップ個別ナンバー及び型式名コードなど）を前記遊技機の外部に出力するための情報出力手段（例えばターミナル基板160のコネクタCN3から遊技機固有情報を外部出力させるCPU56など）とを備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成によれば、遊技機への電力供給が開始されるときに、遊技機固有情報を遊技機の外部に出力するための情報出力手段を備えている。これにより、遊技制御基板の交換などによる不正行為を迅速に発見することができ、不正行為を防止することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するため、本願の第2の観点に係る遊技機は、所定の遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1やスロットマシン601など）であって、前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用CPU（例えばCPU56など）と、前記制御用CPUが搭載された遊技制御基板（例えば主基板31など）と、前記遊技機における遊技状態が遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御されるときに、前記遊技機ごとに予め個別に付与された遊技機固有情報（例えばメーカーコード、チップ個別ナンバー及び型式名コードなど）を前記遊技機の外部に出力するための情報出力手段（例えばターミナル基板160のコネクタCN3から遊技機固有情報を外部出力させるCPU56など）とを備える。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

このような構成によれば、特定遊技状態に制御されるときに、遊技機固有情報を遊技機の外部に出力するための情報出力手段を備えている。これにより、遊技制御基板の交換などによる不正行為を迅速に発見することができ、不正行為を防止することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

上記目的を達成するため、本願の第3の観点に係る遊技機は、所定の第1の枠（例えば外枠2 A など）と、前記所定の第1の枠に対して開閉可能に取り付けられた所定の第2の枠（例えばガラス扉枠2 や遊技枠1 1 など）とが設けられ、所定の遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1 やスロットマシン6 0 1 など）であって、前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御処理を実行する制御用CPU（例えばCPU 5 6 など）と、前記制御用CPU が搭載された遊技制御基板（例えば主基板3 1 など）と、前記所定の第2の枠が開放されたことを検出する開放検出手段（例えばドア開放スイッチ1 5 5 a など）と、前記開放検出手段によって前記所定の第2の枠が開放されたことを検出したときに、前記遊技機ごとに予め個別に付与された遊技機固有情報（例えばメーカーコード、チップ個別ナンバー及び型式名コードなど）を前記遊技機の外部に出力するための情報出力手段（例えばターミナル基板1 6 0 のコネクタCN 3 から遊技機固有情報を外部出力させるCPU 5 6 など）とを備える。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

このような構成によれば、所定の第2の枠が開放されたことを検出したときに、遊技機固有情報を遊技機の外部に出力するための情報出力手段を備えている。これにより、遊技制御基板の交換などによる不正行為を迅速に発見することができ、不正行為を防止することができる。

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 4

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 5

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 6

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 7

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 1 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】